

授業科目名	子育て支援	担当教員名	上村 康子
必修/選択	必修(保育士資格)	開講学年・学期	1年 前期(年間開講数 2講座)
科目区分	保育に関する科目	単位数	1単位(15時間)
施行規則に定める科目区分等	保育の内容・方法の理解に関する科目(別表1)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
		特記事項	
授業の到達目標	(1)保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解する。 (2)保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。 (1)保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援(保育相談支援)について、その特性と展開を具体的に理解する。 (2)保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。		
授業の概要	近年、子育てに悩み、困難を抱える保護者や家庭も少なくない状況にあることから、保育士をはじめとする保育者による子育て支援が求められている。そこで、保育士をはじめとする保育者の保護者に対する相談・助言・情報提供・行動見本の提示等を中心に取上げ、保育者による子育て支援の特性と展開について具体的に学習する。学んだことを踏まえて、様々なケースの実践事例等を受講生一人一人で行って検討するだけでなく、グループおよび全体で検討・討議し、まとめ、発表する。さらにはロールプレイング等を通して必要とされる支援内容、方法、技術について学び合い、理解を深められるように授業を展開する。		
テキスト	使用しない		
参考書・参考資料等	①「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領<原本>」(株式会社チャイルド本社) ②『子育て支援』西村重稀・青井夕貴編、(中央法規出版)、2019 資料：授業時に担当教員作成のプリントを配布。毎回、そのプリントに基づき授業を展開。		
成績評価の方法	①平常点(受講態度等)：20% ②課題(課題への取り組み及び成果物)：60% ③目標到達度(確認テスト等)：20%		
授業計画	授業の内容		到達目標番号
第1回	「保育士の行う子育て支援の特性—子どもの保育とともに行う保護者支援及び保護者との相互理解と信頼関係の構築—」保育所等の子育て支援が職業倫理観に裏付けられた保育に関する専門的な知識・技術を有する保育士をはじめとする保育者を中心に施設・設備等の保育環境を活用して行われるという、保育を基盤としている点に注視して、「子どもとは」「保育士をはじめとする保育者とは」「保護者とは」「子育て支援とは」と問いかけ、考えるとともに、子育て支援において不可欠な保護者との日常的で継続的な関わりの中で培われる相互理解と信頼関係づくりについて学習する。		(1)
第2回	「保育士の行う子育て支援の特性—保護者や家庭が抱えているニーズへの気づきと多面的な理解及び子ども・保護者が様々な人と関わる機会や場の提供—」子育て家庭が抱える課題は個々に異なり、必要とされる支援も異なって個別対応が求められることについて、事例等を通して考え、理解する。その中で、子どもや保護者が様々な人と関わり、交流できる機会や場の必要性と提供の意義について理解を深める。		(1)
第3回	「保育士の行う子育て支援の展開—子ども・保護者の状況の把握及び支援計画と環境の構成、支援の実践、記録、評価、カンファレンス(ケース会議)—」子育て支援を展開していくプロセスでのインタビューとアセスメント、支援計画作成、環境構成の大切さと留意点、さらに支援の実践と記録、評価、カンファレンスの意義と留意点等について学習する。		(1)
第4回	「保育士の行う子育て支援の展開—職員間の連携と協働及び社会資源の活用と自治体・関係機関や専門職との連携・協働—」保育者が子育て支援を行っていく上で全ての職員の協力と連携が不可欠であるとともに、相談・助言・指導を得られる体制(スーパービジョンやコンサルテーション)の必要性と意義について考え、理解する。さらに、子育て支援の実践においては社会資源の活用と自治体や関係機関、様々な専門職との協力・連携も必要であり、そのあり方について事例等を用いて考え、理解を深める。		(1)
第5回	「保育士の行う子育て支援とその実際—保育所等における支援：保育所等に通っている子どもの家庭及び地域の子育て家庭に対する支援—」保育所等に通っている子どもの家庭と地域の子育て家庭に対する支援について、事例等を通して考える。		(1),(2)
第6回	保育士の行う子育て支援とその実際—障がいのある子どもとその家庭に対する支援—」保育所等を利用する障がいのある子どもとその家庭を取りあげ、障がいについての学習を踏まえた上で、障がいのある子どもとその保護者の理解と受容、支援について事例を通して考え、まとめる。		(1),(2)
第7回	「保育士の行う子育て支援とその実際—特別な配慮を必要とする子どもとその家庭に対する支援及び子ども虐待の予防と対応—」特別な配慮を必要とする子どもとその家庭の中でも、子ども虐待につながっていく可能性が大と考えられるドメスティック・バイオレンスの事例を取り上げ、保育者が支援を行う上での配慮事項や支援のあり方について考える。さらに、子ども虐待について「児童福祉法」や「児童虐待の防止等に関する法律」を中心に学習した上で、子ども虐待に関する情報や事例を用いて「子ども虐待とは」と問いかけ、考えるとともに、子ども虐待への対応について理解を深め、活用できる社会資源を把握する。		(1),(2)
第8回	「保育士の行う子育て支援とその実際—要保護児童等の家庭に対する支援及び多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の理解—」社会的養護を必要とする子どもとその家庭に対する支援について、乳児院と児童養護施設における支援の事例を取り上げ、保育者が支援を行う上での配慮事項や求められる社会資源、さらには自治体・関係機関・専門職との協力・連携に注視し、支援のあり方と展望について検討する。また、多様な支援ニーズを抱える子育て家庭の中でも、多文化の中で育つ子どもと保護者の事例を取り上げ、保育者が支援を行う上での配慮事項や支援のあり方について考え、理解を深める。		(1),(2)
定期試験	定期試験は実施しない		